

NUART

ニチゲイで、  
化けました。

8つのアート1つのハート

NU  
Nihon University, College of Art  
Art

日本大学藝術学部

NUART

illustrations by Nana Yokoyama



# 日本大学教育憲章

木村 政司

日本大学芸術学部長  
日本大学大学院芸術学研究科長

シタゲトビハケテ

**Message**  
学部長からのメッセージ

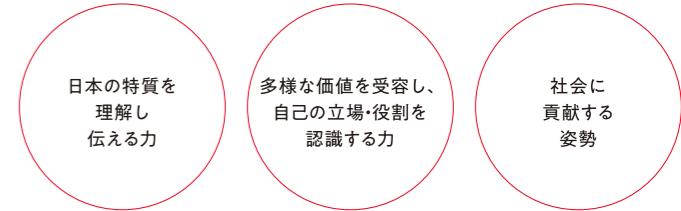
**総合大学の多様性を強みに  
自ら壁を突破していく**

2019年4月、大学1年生から大学院生まですべての学生が1つのキャンパスに集う、「江古田の日藝」が30年ぶりに戻りました。1~2年生にしてみれば、日々4年生や院生の作品に触れ、強烈な憧れを持ってモチベーションを高めることができるでしょう。上級生にとっても自分の作品が見られるることは、大きな成長につながります。また、美術系・芸術系の大学ではなく、16学部を擁する総合大学の1学部であることも日藝の強み。自分の専門領域以外の学生と交流し学べることは、多様化する世界の中で様々な領域を統合して優れた創作をしようとするとき、とても役立ちます。日藝のキャッチフレーズ「8つのアート1つのハート」も、単に8つの学科を表しているのではなく、多様性と共通性の中で共に未来へ向かう姿を表しています。だからこそ、多様性と共通性のバランスが取れ、人間力や美意識を磨いた日藝生が、今、多種多様な業種から求められているのでしょうか。日藝では、日本大学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」「自ら考える」「自ら道をひらく」からさらに一歩進め、「自ら身につける」「自ら創造する」「自ら壁を突破する」としています。ここで最も重要なのは「自ら」ということ。特に芸術においては、創造力や感性を自ら身につけていかなければ目の前の壁をブレークスルーできません。私たちは、学生たちが自らその壁を突破していくパワーを身につけていくための教育を日々開発しています。

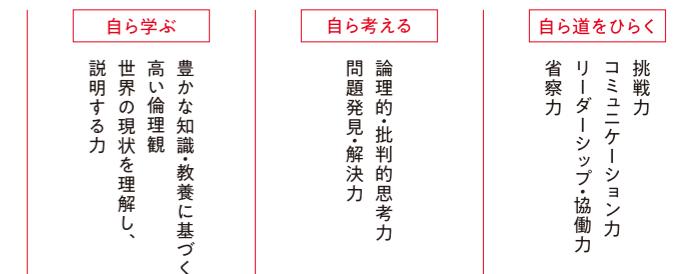
**自分の可能性に挑む学生を  
「化けさせる」教育**

日藝の人才培养は、「化けさせる」教育です。もちろん、誰もが化けられるわけではなく、大いなる野心を持ち、努力を積み重ねた人間だけが「化ける」ことができるのです。私たちはそんな自ら無限の可能性をつかみ取ろうとする学生の、創造性や感性を伸ばす手助けをしています。キャンパスを飛び出した学びも重要で、実社会や人々の生活の中に飛び込み、さまざまな刺激を受ける地域貢献や産学連携を通して、学生は目覚しく成長します。2021年に創設100周年を迎えるこの日藝で、「自分が世界を変えるんだ」という、野心を持って努力を惜しまない人材に「化け」てほしいのです。

## 日本大学マインド



## 教育理念 自主創造

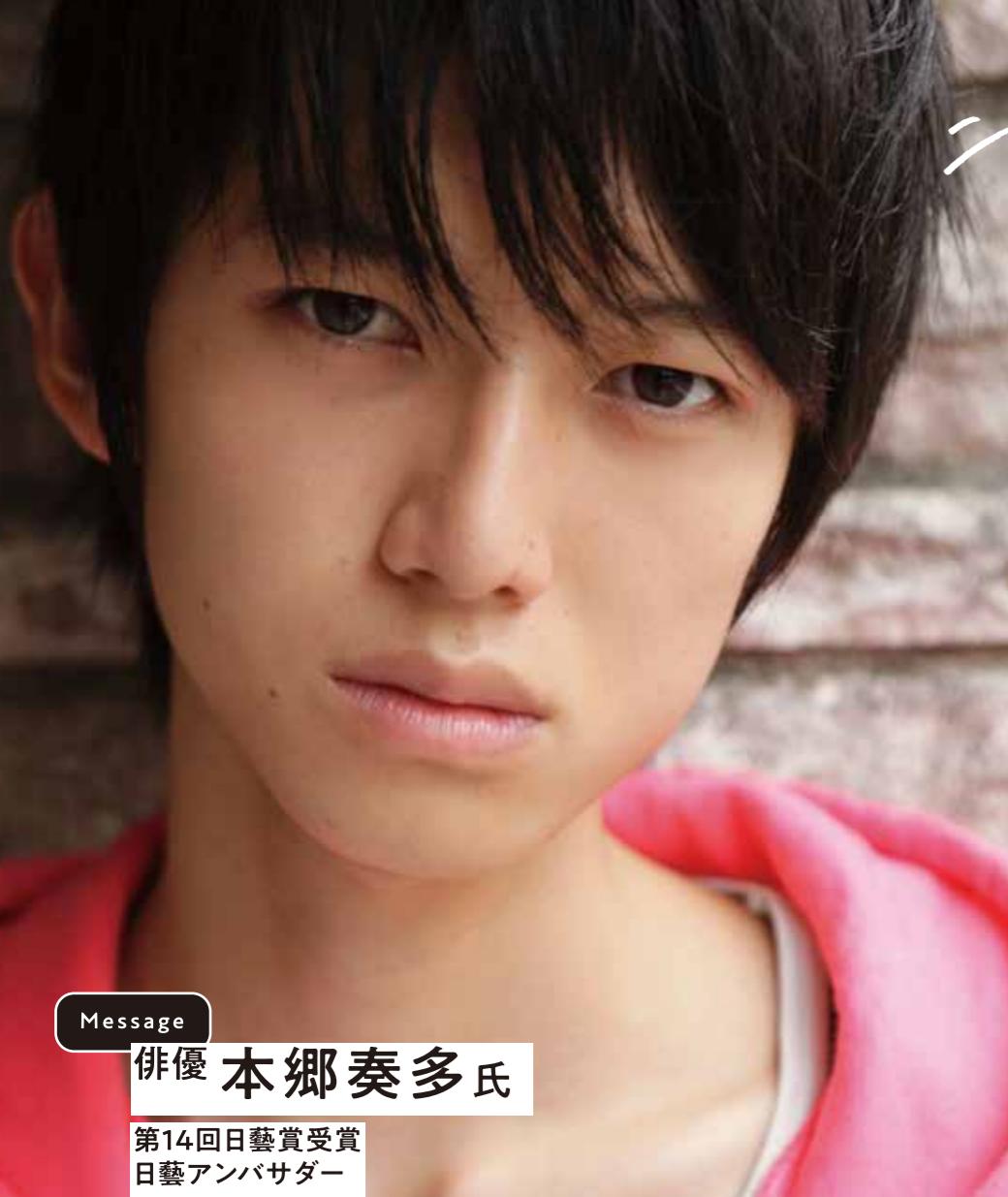


## 16学部から成る日本最大の総合大学

日本大学の前身「日本法律学校」は、1889年、日本文化の高揚と世界視野の拡大という理念のもとに創立されました。以来130年、日本大学と名を変えながら、建学時からの理念のもとで教育・研究活動を続け、日本最大の総合大学となりました。現在、学問の全領域にわたり16学部87学科、さらに、大学院、短期大学部、通信教育部を擁し、100万人以上の卒業生を世の中に輩出しています。

## 「8つのアート1つのハート」 その出発点は、既成概念にとらわれない 「自主創造」の精神

日藝の歴史は、大正10年(1921年)、日本大学法文学部に美学科が誕生したことになります。以来、実技中心の大学教育を行う国内初の芸術総合学部として、その伝統を築き上げてきました。これまでに輩出した卒業生は、約55,000人。現在、江古田キャンパスでは「8つのアート1つのハート」というキャッチフレーズのもと、8学科約4,000人の個性豊かな学生が、互いに交わり、時にぶつかり合いながら、無限の芸術・文化の世界を開拓しています。そんな私たちが他の芸術系大学と根本的に違うのは、総合大学の一学部であるということです。日本大学は、全国に16学部を抱える日本最大の総合大学。そうしたネットワークを生かした独自の芸術教育が可能です。例えば、他学部・他学科の学問的成果を取り入れた新しいプログラムの導入など…。そのような特殊性を放ちながら、新時代を生き抜く精神力、行動力、柔軟性を兼ね備えた逞しい人材を育んでいく。それが、「自主創造」を教育理念に掲げる日本大学の、そして私たち芸術学部の伝統であり、「日藝ブランド」の本質ともいえるのです。



### Message

## 俳優 本郷奏多氏

第14回日藝賞受賞  
日藝アンバサダー

### PROFILE

#### 本郷 奏多

1990年11月15日生まれ、宮城県出身。2013年写真学科卒業。

2002年映画『リターナー』で俳優デビュー。以降、2005年『HINOKIO』で映画初主演を務め、主演映画『テニスの王子様』(06)や映画『NANA2』(06)など話題作品に多数出演。その後、2011年公開の映画『GANTZ』を皮切りに『進撃の巨人』(15)、『鋼の錬金術師』(17)、『いぬやしき』(18)など大ヒット漫画原作の実写映画にキーパーソンとして出演が続き、再現度の高さから注目を集める。昨年は実写邦画ナンバーワンの大ヒットを記録した映画『キングダム』に出演した他、映画『Diner ダイナー』や主演映画『凜-りん-』、主演ドラマ『あおざくら防衛大学校物語』等に出演。本年も日本初の実写ムービーゲーム『Death Come True』で主演を務める他、主演映画『戦国ガールと剣道ボーイ』が公開予定、さらにNHK大河ドラマ『麒麟がくる』では閑白・近衛前久役を演じるなど活躍の幅を広げている。

## 日藝賞 NICHIGEI AWARD FOR EXCELLENCE

各界に多彩な人材を輩出していることで知られる日藝。特にメディアやクリエイティブの世界には出身者が多く、仕事を介して同級生や先輩・後輩と偶然に出会うケースも多いようです。そんな事実に着目し、校友とのつながりを深めるために創設されたのが「日藝賞」。全ての日藝出身者を対象にその年に最も活躍した人物を独自に表彰することで、出身者への敬意を表すとともに、在学生への励みとしています。また形になっていない表現への衝動を、よりよいカタチで表現してほしい。そのためのツックになれば…。そんな「遊び心」が現れた日藝ならではの賞なのです。



日藝賞歴代受賞者									
日 藝 賞	第 1 回	三谷 幸喜 脚本家	佐藤 隆太 俳優	日 藝 賞	第 2 回	大石 芳野 ドキュメンタリー 写真家	爆笑問題 太田光・田中裕二 タレント	日 藝 賞	第 3 回
									宮藤 官九郎 脚本家
									真田 広之 俳優
日 藝 賞	第 4 回	市川團十郎 歌舞伎俳優	宮嶋茂樹 報道カメラマン	日 藝 賞	第 5 回	林 真理子 作家	青山 剛昌 漫画家	日 藝 賞	第 6 回
									松井 龍哉 ロボット デザイナー
									船越 英一郎 俳優
日 藝 賞	第 7 回	よしもとばなな 作家	森田 公一 作曲家	日 藝 賞	第 8 回	松崎 しげる 歌手	坂田 栄一郎 写真家	日 藝 賞	第 9 回
									片渕須直 映画監督
									三宅 由佳莉 海上自衛隊 ボーカリスト
日 藝 賞	第 10 回	中村 獅童 俳優	池松 壮亮 俳優	日 藝 賞	第 11 回	小野 大輔 声優	小山 薫堂 放送作家	日 藝 賞	第 12 回
									片渕須直 映画監督
									三宅 由佳莉 海上自衛隊 ボーカリスト
									小野 大輔 声優

詳しくはWEBをご覧ください

# ニチゲイび 化けいきレーン。

在学中から憧れていた日藝賞。この度いただくことができて、大変嬉しく思います。子供の頃から芸能界に身を置き、一生役者を続けていきたいと思っていた自分にとって、そもそも大学進学をするかどうか悩ましいところがありました。しかし、進学を諦めたことを将来後悔したくないという思いと、クリエイティブな思考を持った同世代の友人を作りたいという思いから日藝の受験を決めました。

在学中は監督やカメラマンを目指す友人と自主製作映画を作ったり、写真学科の友人とひたすらスタジオに籠ったり、充実した日々を過ごしました。そんな彼らもそれぞれ目指す道に進み、今では仕事現場で偶然一緒にになることが多いです。

日藝へ入ったことで一生の仲間を作ることができました。自分の選択は正しかったと思います。7年経った今でも、本当の意味で仲間と呼べるのは大学時代に共に過ごした彼らだけです。これからもこの賞に恥じぬよう、役者として日々精進して参ります。この度はありがとうございました。

「ニチゲイで化ける」ために、大切なのはひた向きに芸術に向き合う姿勢と自ら夢をつかもうとする強い気持ちです。日藝には、その想いに応える多様で充実したカリキュラムがあります。そして、学生一人ひとりの挑戦を全力でサポートする頼もしい教員がいます。この場所には、「化けるための学び」が確かにあります。

### 総合大学という強み

「日大」と「日藝」という二つのアイデンティティ。

日藝の強みの一つは、その歴史が日本大学法文学部に美学科として始まったこと。すなわち、日本大学という国内最大規模の総合大学の一学部であるということです。8つの学科を備えた芸術総合学部としての独自のアイデンティティを保つつゝ、他学部・学科の学問的成果を取り入れた新しいプログラムを導入するなど他の芸術系大学にはない教育システムで、芸術の発展に寄与する人材をこれまで多く輩出してきました。これからも芸術分野、そしてそれ以外の分野にも貢献するための教育を続けていきます。



## 写真学科 Photography



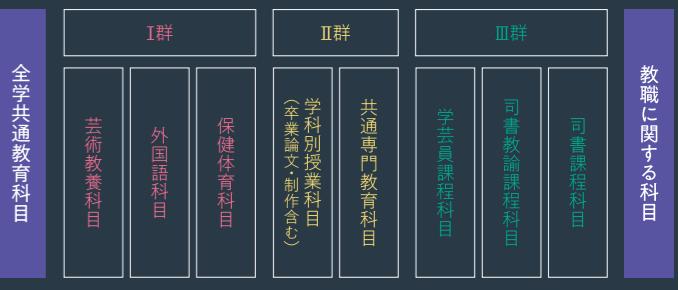
### 日藝のカリキュラム

芸術と教養を幅広く学び、「独自の表現」を獲得していく。

日藝のカリキュラムは、全学共通教育科目、I~III群の学びと教職に関する科目で構成されています。全学共通教育科目は大学生としての基本的な学びの態度と技能を習得することを目的とした全学共通で実施する初年次教育科目です。I群は「芸術教養科目」「外国語科目」「保健体育科目」から構成されており、芸術創造教育及び芸術総合教育のさらなる充実のために、芸術・文化の基礎知識を現代の教養として組み込んでいます。II群は「学科別授業科目」ビ「共通専門教育科目」から構成されており、「学科別授業科目」では学科ごとの専門科目を学び、「共通専門教育科目」では、芸術プロジェクトをベースにした実践型・参加型の学習形態で思考力や実践力など様々なスキルを身につけます。また、III群の「資格取得科目」は学芸員や司書教諭、司書といった教員免許状以外の資格を取得するための科目が開講されています。



## 文芸学科 Literary Arts



(注) 第II群美術学科及び文芸学科に属する教職教科部門、第III群学芸員課程科目・司書教諭課程科目・司書課程科目及び教職に関する単位は卒業単位に含まれません。

# 人をいたための 学び!

演劇学科  
Theatre

デザイン学科  
Design

映画学科  
Cinema

美術学科  
Fine Arts

放送学科  
Broadcasting

音楽学科  
Music

## 大学院

60年以上の歴史を持つ芸術系総合大学院である芸術学研究科は、新生江古田計画が本格始動する2019年、一つの校舎で学部4年、大学院前期2年、大学院後期3年の連続9年の一貫教育が可能となりました。専門性の高い5つの前期課程専攻で、深化した芸術の理論と歴史の研究を通して想像力と国際発信力を養い、併せて領域を超えた応用領域での複合的な芸術の創作と研究を探求することで、高度な知識と経験を研鑽します。昭和26年に設置した文芸学専攻、平成5年に映像芸術専攻、造形芸術専攻、音楽芸術専攻、舞台芸術専攻の4専攻を設置し、多くの研究者、表現者を輩出しています。平成7年に開設された博士後期課程芸術専攻では、これまで121名(2019年度末まで)の博士を輩出し、様々なフィールドで自立した研究と表現を行い、社会貢献を果たしています。未来の芸術開拓者となる人材の育成を目指しています。

### 大学院芸術学研究科

博士前期課程<5専攻>

文芸学専攻 LITERARY ARTS	映像芸術専攻 IMAGE ARTS	造形芸術専攻 FINE ART AND DESIGN	音楽芸術専攻 MUSICAL ARTS	舞台芸術専攻 PERFORMING ARTS
------------------------	----------------------	-------------------------------	------------------------	---------------------------

現代文学を研究・創作の両面から考え、隣接ジャンルとの関係で幅広くとらえて文学の未来を探らせる。文学のみならず広義の文化研究の領域でも新研究を求めていく。そのためのあらゆる試みを可能にして、文壇・論壇・学界の新しい担い手を養成する。

今日の情報環境や芸術の中では、映像作品や映像メディアは、様々な領域の中を横断的、かつ複合的にその役割を果たしている。また一方では、従来と同じように写真や映画や放送メディアは独立して、確固たる領域の中で機能している。映像芸術専攻では、その両面に即した教授陣を配し、カリキュラムを構築し、斬新な切り口で取り組む専門的な研究者と、新しい表現に意欲的に取り組み活発に創作活動に励む表現者の養成、そして新たな創造的研究領域の形成を図る。

デザイン、美術、美学美術史の分野における専門家を養成する。創作研究、作品分析研究、歴史研究を多角的に追求し、平面、立体、映像等表現のより豊かな感性の向上に合わせて、古典的及び現代的手法・技法を習得する。芸術の根源的な営為への想像力を駆せる力を養う一方で、文献学の基礎的方法も学ぶ。国際的な視野を持ち、社会との連携も視野に入れつつ、IT時代に即応した先端的表現領域や、造形関連分野境界領域での表現の独創性も追求する。

音楽は、芸術文化の中で重要な部分を形成するばかりでなく、社会がますます複雑化し、多様化するにつれて、演劇、舞踊、映画、放送などといった諸分野との結びつきも、さらに密接になってきている。文化的国際化にともなう、まったく新しい形の活動も、めざましい現実を見据え、いっそう高度な演奏、創作、研究を実践し、あるいは教育に当たることのできる人材を養成する。

演劇の実践教育及びその芸術表現を基盤に、戯曲、演出、舞台美術の空間表現と、演技、舞踊など身体表現の映像研究を主眼とする。殊に、映像メディアを活用した身体表現や創作実験の場の提供による表現など創造的研究を行う。従来の西洋演劇を中心とした学問体系のみならず日本の伝統芸能、民俗芸術等を基盤として、これらの歴史研究、調査研究を実施し、高度な専門知識と実践的能力を有する人材を養成する。

博士後期課程<1専攻>

芸術専攻 THE ARTS
------------------

自らの専門分野をより深く研究することを目的としつつ、異なる分野・領域からでも自らの研究に必要な研鑽を可能にし、新たな表現と理論の開発にも有効に機能するよう多様な教授陣を配している。高度な表現研究能力と豊かな学識を持ち、自立した研究活動と高度な専門的活動に従事する人材を養成する。



# 芸術教養課程

NU ART

ひろがるアート。創造のスタート。

START  
START

日本大学藝術学部



2021



# 芸術教養課程

従来の一般教育・外国語・保健体育・共通選択の各科目の枠組みを再編成。芸術創造教育及び芸術総合教育のさらなる充実のため、芸術・文化の基礎知識を現代の教養として新たに組み込んでいます。人間・社会・自然への理解、異文化への理解、健康への理解を深めるとともに、芸術に関する基礎理論から大学院を視野に入れた演習科目まで設置し、可能な限り1年次から履修できるように配慮しました。



## 1 芸術教養科目

芸術・文化の幅広い教養、芸術の総合的視野を身につけるための科目。知の多様性を満たし、基礎学力を強化します。「芸術総合講座」も、この科目群に含まれます。

教員紹介

櫻井 歓 [教授] Kan SAKURAI

[主な担当科目]

アートと教育

高久 晓 [教授] Satoru TAKAKU

[主な担当科目]

情報I-II

吉野 大輔 [准教授] Daisuke YOSHINO

[主な担当科目]

美学I-II / 表演芸術論 [主な担当科目]

人間の心理I-II / 芸術と心理I

### 著作権と知的財産権

出版業界・メディア業界で必須の知識である著作権や作品の権利処理に関する内容を学びます。第一線で活躍するメディアビジネスの専門家や作家、マンガ家、エンターテインメントに携わる弁護士、映像・音楽・デザイン・ネットなどの実務担当者を招き、事例をもとにした実践的講義を行います。

### 【TYO冠講座】吉田塾～時代の波と広告～

AOI TYO Holdings代表取締役 吉田博昭氏が講師を務め、ディスカッション形式でのアクティブラーニングによって講義を進めていく講座です。広告について、狭い技術論ではなく、より広い社会的な観点から考えます。特に広告の原動力であるく時代の波～をテーマとし、様々な異なる角度からディスカッションを行っています。広告を考えながら、常にそれを動かして来たく今、私たちが求めるもの～の変化を理解し、歴史的なストーリーを読み取ること、これから先の時代を考えていく視点を持つことを目指しています。

### 【東北新社冠講座】映像コンテンツプロデュース論

東北新社グループによる、プロデューサーを軸とした映像コンテンツの制作システムを実践的に学ぶ、企業体験の講座です。CM・映画・テレビ番組・WEBなどの現職プロデューサーが講師となり、自分が手掛けた作品などを実例にとりながらプロデュース業務を解説。特にCMプロダクションマネジメント実習講義では、プロデューサーにとって最も大切な仕事である「予算設定」「スケジューリング」「スタッフリング」などを学生自らが体験することにより、プロデュース業務を深く理解していく内容になります。

(東北新社の赤坂本社に出向いてプロの現場で学ぶ講座であるため受講生の数に制限があります)

## 2 外国語科目

国際人としての基本的な教養や語学力を習得。英語・ドイツ語・フランス語・イタリア語・中国語・日本語（留学生のみ）のいずれか1科目が選択必修の他、韓国語・スペイン語・ラテン語も学べます。



教員紹介

植月 恵一郎 [教授] Keiichiro UETSUKI

[主な担当科目]

英語

カレン・マギー [教授] Karen MCGEE

[主な担当科目]

英語／応用英語

久保 隆子 [教授] Yoko KUBO

[主な担当科目]

英語／応用英語

ジュリアン・マニング [教授] Julian MANNING

[主な担当科目]

英語／応用英語

須藤 溫子 [教授] Haruko SUTOU

[主な担当科目]

ドイツ語／実践ドイツ語

堀 邦雄 [教授] Kunishige HORI

[主な担当科目]

英語

山内 淳 [教授] Atsushi YAMAUCHI

[主な担当科目]

フランス語／日本語

松浦 恵美 [専任講師] Megumi MATSUURA

[主な担当科目]

英語／応用英語

## 3 保健体育科目

ヒトの身体や健康、運動に関する知識を学ぶ講義科目と、実際に身体を動かして行う実技科目を開講。実技科目では、バドミントンや卓球、トレーニング系種目や、集中で行うゴルフ、スキー、スケートなどのシーズンスポーツも開講しています。



教員紹介

小沢 徹 [准教授] Toru OZAWA

[主な担当科目]

健康・スポーツ科学／バドミントン／ウェイト・トレーニング

加藤 弘一 [教授] Hirokazu KATO

[主な担当科目]

健康・スポーツ科学／シェイプアップ・トレーニング／インドア・ゴルフ

畠瀬 啓 [准任講師] Satoshi HATASE

[主な担当科目]

健康・スポーツ科学／卓球／ソフトバレーボール

松村 悅博 [教授] Yoshihiro MATSUMURA

[主な担当科目]

健康・スポーツ科学／ダンベル体操／卓球

# 写真学科

• 2021 •

# PHOTOGRAPHY

8つのアート1つのハート



日本大学藝術学部



1921-創設100周年-2021  
Nihon University College of Art

## 写真で見る写真学科 Photo Gallery



## 主な施設 Facility



- ① 大スタジオ
- ② 大暗室
- ③ 写真ギャラリー
- ④ 機材センター
- ⑤ デジタルフォトラボ

写真学科HPへ  
教員スタッフ・授業紹介ほか



# 写真学科

# 光と 影が紡ぐ PHOTOGRAPHY 世界の 探求

時の流れの中で起こる出来事を記録する。心や頭の中にあるイメージを被写体という実体を借りて発信する。写真は記録や伝達、あるいは芸術表現の手段としてだけでなく、多様化するデジタルコンテンツの分野においても重要な役割を担っています。写真学科では、ただ単に写真技術を習得するだけなく、幅広い芸術的教養と知識を身につけた写真家やクリエイターの育成をめざし、時代のニーズに対応した広範囲の教育を行っています。

## 学びのポイント Keyword

POINT 1

### 写真を学ぶ 3本の柱

カリキュラムは「表現技術を学ぶ実習」「制作のための技術理論」「表現や研究を行うための表現理論」という3本の柱で構成しています。さまざまな角度から写真と向き合い、單に技術を習得するだけではなく、その本質を追求します。写真学科は、伝統に基づきながらも常に最新の状況・情報に目を配り、現代における写真の可能性を見据え、幅広い芸術的教養と知識を身につけた写真家やクリエイター、写真のプロフェッショナルの育成をめざしています。

POINT 2

### 学外への 作品公開

約10万点にも及ぶ卒業制作をはじめ、歴史的に貴重な資料や写真作品などを、芸術資料館の協力のもと積極的に収集しています。コレクションは、学内での展覧会で紹介するだけでなく、美術館への貸し出しなどを通して、一般の方々にも広く公開しています。学生の制作発表の場としては学内選抜による外部ギャラリーでの作品展なども実施しています。

POINT 3

### 多彩な 授業

写真界のフロントで活躍しているさまざまな分野の写真家や研究者などを写真学科講師として招き、多彩な授業を展開しています。最先端のデジタル技術から銀塩・古典技法まで幅広い写真に対応しています。またデザイン学科教員による集中講義を実施することで、写真を活用するための幅広い知識・技術も身につけられるような体制を整えています。その他、外部アイドルをモデルとして招いての撮影なども実施し、学外とのコラボレーションも積極的に行っています。

## 授業紹介 Class



### 【写真技術】

カリキュラムのメインとなる写真技術はデジタルとなりましたが、写真学科では必ず全学生が銀塩写真の技術と表現を学びます。また、鶏卵紙や塩化銀紙、サイアノタイプなど19世紀に活用された古典技法を学べる科目も設定しています。デジタルによる写真だけではない多様な写真表現を学び、制作することができます。



### 【写真特別講座】

オムニバス形式の授業では、毎週異なる分野のプロフェッショナルによる講義を行います。スポーツや鉄道、水中写真といった各分野の写真家はもちろん、キュレーターや編集者の方を招き、写真に関わるさまざまな現場の話を聞き、自分の将来を考えることができます。



### 【動画編集】

デジタル一眼レフを使用した動画編集を学びます。卒業後、写真だけではなく動画の撮影や編集を求められることも多いという現状を踏まえ、写真学科に所属しながら他映像分野の表現も身につけることができます。



### 【広告写真／ポートレート】

大スタジオと5つの小スタジオを使い、静物写真のライティング技術や表現方法、ポートレート撮影をする際の技術やコミュニケーションについて実践的に学びます。プロ仕様の機材を使った実習です。



### 【インターンシップ】

2004年より単位を認定する科目としてインターンシップを開講しています。制作会社・美術館・ギャラリー・写真家事務所・ブライダル・テーマパークなど、写真に関する仕事先へ出向き、夏期休暇中に実務体験をします。大学内では得られない現場体験を通じ、大きな成長を遂げています。

## 4年間の流れ Process

### 実習

#### ●写真基礎演習I



光の認識、写真表現の仕組み、カメラの操作から撮影・デジタルのプリントシステムから仕上げ方法まで、写真についてのあらゆる基礎知識を実習と講義を通して身につけています。

#### ●写真技術I



黒白フィルムによる撮影・現像・プリントシステムを使った作品制作実習を行いながら、銀塩写真の基礎を学びます。

#### ●写真基礎演習II



小型カメラと大型カメラの基礎技術やスタジオライティングなどを学び、それぞれの特徴を生かした作品制作を行います。

#### ●写真基礎演習III



表現方法の理解を深め、技術を広げながら、制作、実験、研究を行い、その発表を通して、各自の方向性を探ります。

#### 選択科目

「広告写真」「報道写真」「ポートレート」「建築写真」「ファインプリント」「特殊技法」など、幅広い写真制作の授業を、各自の興味と将来を見据えて選択できます。

#### ●ゼミナール



一人ひとりの将来の方向を見据えた個人指導を中心に、専門的かつ実践的な理論・制作の演習が行われ、「卒業制作」や「卒業論文」にまとめていきます。

### 卒業後の進路 Career

新聞社や雑誌社、広告代理店、写真スタジオ、写真事務所などに多くの卒業生が進んでいます。  
撮影や制作を通して培ったコミュニケーション能力や表現力を活かした職業に就く学生もいます。

#### 【過去3年間の実績】

株式会社毎日新聞社／株式会社中日新聞社／株式会社北海道新聞社／株式会社日本農業新聞／株式会社共同通信社／株式会社時事通信社／株式会社小学館スクウェア／株式会社朝日新聞出版／株式会社講談社／光文社サービス株式会社／株式会社共同テレビジョン／株式会社J-WAVE／株式会社電通クリエーティブ／株式会社東京アドザイナース／株式会社博報堂プロダクツ／株式会社アマナ／株式会社アン／株式会社たき工房／株式会社ティー・ワイ・オー／株式会社イノ・メディアプロ／株式会社スタジオエビス／株式会社松濤スタジオ／有限会社六本木スタジオ／鈴木陽介写真事務所／株式会社アプロ／株式会社資生堂／株式会社スターダストプロモーション／株式会社ソニー・ミュージックアーティスツ／株式会社ピックカメラ／株式会社フジヤカメラ店／東日本旅客鉄道株式会社／全日本空輸株式会社／ネスレ日本株式会社／城北信用金庫／日本生命保険相互会社 ほか

### 理論

#### ●写真史I

写真技法と写真表現の変遷を学び、写真先進国・欧米の写真の歴史について基礎的な知識を身につけていきます。

#### ●写真史II

幕末・明治から現代に至る日本の写真史を学び、日本独特の写真のあり方について理解を深めていきます。

#### ●イメージングプロセス論I

銀塩及びデジタル写真における作画プロセスの基本的な理論を学び、作品制作のための幅広い知識を身につけていきます。

#### ●写真光学

光の性質やレンズの特性など、写真撮影に必要な写真光学の基礎的な知識を身につけていきます。

#### ●写真色彩学概論

写真制作に必要な色彩知識を深め、色の組み合わせ方やその特性について学びます。

#### ●写真作家作品研究I

写真誕生から1930年頃までに生み出された名作とその時代に活躍した写真家について学びます。

#### ●電子画像概論

デジタルカメラの構造やデータ化の原理を学びながら、最新デジタル画像の基本知識を身につけていきます。

#### 選択科目

「写真化学」「カメラメカニズム」などを学ぶことができます。

#### ●写真作家作品研究II, III

1900年頃から現代までの作品とその写真家を取り上げ、近代写真や現代写真について考察を行います。

#### 選択科目

「広告写真」「報道写真」「現代写真」「写真印刷」「写真表現文化論」などの理論について学ぶ科目。また、写真の編集やプレゼンテーションの仕方などを学ぶ科目もあります。

#### ●写真芸術学

先人の写真論や写真芸術論を通して、「写真とは何か」という写真芸術の本質的な問題について考えていきます。



# 映画学科

CINEMA

## 作品紹介 Gallery

### 受賞作一覧

- 1 『愚か者、HINAのためのセレナーデ』(平成30年度映画演出Ⅲ・映画技術Ⅲ)  
第14回 札幌国際短編映画祭 最優秀国内作品賞、最優秀女優賞
- 2 『他人の町』(平成30年度映像表現・理論Ⅲ)  
第25回 学生CGコンテスト<エンターテインメント部門> 審査員賞
- 3 『Not a Hero』(平成30年度卒業制作)  
第23回 JPPA AWARDS 2019 学生の部(ドラマ) 映像技術部門最優秀賞、音響技術部門優秀賞  
第19回特ラ機構技術賞 金賞
- 4 『仄にたゆたう其れと、渚で二人。』(平成30年度卒業研究)  
International Students Creative Award 2019  
<国内コンテンツ部門> 佳作

## 学科の活動 Activity

### 映像表現・理論コースによる学生映画祭

#### 映画祭「スポーツの光と影」(2019)

2019年で、9年目をむかえた映画学科映像表現・理論コースによる学生映画祭。これまでに「映画祭1968」(2011)、「新・女性映画祭」(2012)、「監督、映画は学べますか?」(2013)、「ワーカーズ2014」(2014)、「ニッポン・マイノリティ映画祭」(2015)、「信じる人をみる 宗教映画祭」(2016)、「映画と天皇」(2017)、「朝鮮半島と私たち」(2018)と開催してきました。

## 主な施設 Facility



- ① 撮影スタジオ
- ② ビデオ試写室
- ③ 録音スタジオ1
- ④ 現像機室



— 映画学科HPへ  
教員スタッフ・授業紹介ほか



百藝  
1921-創設100周年-2021  
Nihon University College of Art

8つのアート1つのハート

NU  
Art

日本大学藝術学部



2021

# 映画学科

## 進化を 続ける CINEMA 芸術の 集合体

映画の表現世界は、サイレントからトーキーへ、白黒からカラーへと、さまざまな変化を遂げてきました。デジタル技術の急速な進歩で、映像表現の可能性はますます広がり、私たちの目の前には、新たな表現の世界が待ち受けています。コンピュータなどに代表されるデジタルメディアは、今や身近で欠すことのできないコミュニケーションツールとなり、個人の表現世界も大きく広がりつつあります。

### 学びのポイント Keyword

#### POINT 1 4つのコース

本学科は、映画理論にアプローチすると同時に、評論家や研究者、シナリオライター、映像メディアの制作を育成する「映像表現・理論コース」、映像作家を育成する「監督コース」、映像技術の専門家を育成する「撮影・録音コース」、映像メディアで活躍する演技者を育成する「演技コース」の4コースに分かれています。学生がそれぞれの分野のスペシャリストに成長できるよう、各コースで用意された独自のカリキュラムにより高度な専門知識と技術を身につけています。

#### POINT 2 多彩な授業

「映画芸術学」や「日本映画史」、「外国映画史」、「シナリオ論」といった全コース共通の必修科目の他に、コースごとに段階制の科目が設けられています。4年次にはそれぞれの専門的な学びの集大成として、卒業論文・卒業シナリオ・卒業研究・卒業制作に取り組みます。また、選択科目として多彩な授業が用意されており、理論や歴史、研究方法、多様な表現技術について学ぶことができます。

#### POINT 3 アワード

芸術学部では、各年度の卒業論文・卒業シナリオ・卒業研究・卒業制作の優秀なものに対して、芸術学部長賞、芸術学部奨励賞、渡辺俊平記念賞などを授与。さらに映画学科では、映画学科奨励賞や映画学科特別賞などを授与しています。このような学内の表彰のほか、国内外の映画祭などにも積極的に参加。アメリカの学生アカデミー賞やドイツのオーバーハウゼン国際短編映画祭、国内ではSKIPシティ国際Dシネマ映画祭など、さまざまなコンテストで多数の入選・受賞歴があります。

### コース紹介 Course

#### 映像表現・理論コース

理論・批評、シナリオ、映像の3つの専攻を軸に、映像の研究と創造の基礎課程を経てそれぞれの専門の研究、創作をします。理論の探究および、映画の基になるシナリオからアニメーション、メディアアートなど、さまざまな映像芸術の研究・企画・創作にアプローチしていきます。また、映像ビジネスに関する講座を充実させ、現在のものに対応した人材、新たな映像ビジネスを開拓していく人材の育成をめざします。



#### 監督コース

ドラマ、ドキュメンタリー、アニメーションなどジャンルにとらわれず映像を用いた物語世界の構築がコースの基本理念です。そのための表現技術の習得や物語内容の追究を目的としてカリキュラムを構成しています。また、映画制作の世界は個人制作だけでなく集団創造の場という基本的な侧面を踏まえて、スタッフワークなどの重要性を「撮影・録音」「演技」コースとコラボレーションしながら身につけています。映画の演出のみならず脚本や撮影、編集技法など幅広い知識を持ったクリエイターの育成を目的としています。



#### 撮影・録音コース

映画制作の根幹となる映像と音響の技術を習得するために、「撮影」「録音」の領域から実践的なカリキュラムを構成しています。1年次より、フィルム、デジタルの両面から各種の機材を用いた実習を中心として、表現技術のあり方を追究していきます。さらに、原理となる自然科学の知識を得て、より深い技術的教養を育みます。2年次以降は、「監督」「演技」コースとの共同作業を行い、照明技術や特殊撮影、仕上げ作業に至るまで幅広く実践力を培います。3年次からは適性や志望分野に専攻を絞り、作品制作や研究活動を継続していきます。



#### 演技コース

映画俳優の育成をめざして、実践的なカリキュラムを用意しています。1・2年次には発声など演技の基礎訓練、音楽・日舞・洋舞などによる身体表現、感情表現などを通じて、演じるために必要な基礎力を育成します。「監督」「撮影・録音」コースと実習作品・卒業制作などを制作することで、映画制作に関する知識や現場への理解を深め、脚本の読み取りから、役づくり、撮影やアフレコ作業といったさまざまな制作過程や、演技者としての日常訓練の方法を習得していき、映画人として必要なバイアリティーや体力、精神力を身につけています。



### 授業紹介 Class

#### ●映画演技実習I・II

演技コースの根幹となる2年次の授業です。1年次の映画演技基礎で学んだ技術を、さらに発展させるために必要な感情の解放と集中を得るための身体訓練を行います。また、既成の台本を用いて、役づくりの具体的な方法論を学びます。さらに、「監督」「撮影・録音」コースと合同で実際に作品を制作します。



#### ●映画芸術学I・II

映画学科の根幹をなす講義で、映画学科1年次の全コース必修授業です。映画とは何か? ビジネスであり芸術でもあるという映画の両義性が果たす役割について、具体的な映像や文献を示しながら、映画の基本的な特性について学びます。他学科公開の授業です。

#### ●映像概論

映像表現・理論コース1年次の授業です。映画以外のさまざまな映像メディアが存在する現在、映像というものの持つ特性や歴史について学び、映像メディアについての基礎的な教養を身につけるとともに今後の新たな課題も検討します。

#### ●シナリオ基礎

映像表現・理論コース1年次の必修授業です。シェークスピア、ギリシア悲劇、民話などを題材に「物語とは何か?」について学びながら、シナリオを執筆するための基礎知識を身につけています。

#### ●映画技術I・II

撮影・録音コースの根幹となる1年次の授業です。フィルム・デジタル両面の撮影機や録音機の取り扱いを基本として、短編の劇やドキュメンタリー作品を作ります。単に機器の取り扱いにとどまるところなく、それらを用いることでどのような表現をなし得るのか自身につけています。

#### ●録音研究I

撮影・録音コースの授業です。大小さまざまな規模の録音スタジオを用いて、機材の取り扱いから録音、ミキシングなど実戦的にスタジオ・ワークを身につけます。

### 卒業後の進路 Career

映画制作の現場などでフリーランスとして活動するだけでなく、映画、アニメ、テレビ、CMなどの関連会社に就職する人も多くいます。

#### 【過去3年間の実績】

株式会社A-1 Pictures／株式会社AOI Pro.／株式会社IMAGICA Lab.／株式会社アームズ／株式会社朝日広告社／伊藤忠ケーブルシステム株式会社／株式会社NHKテクノロジーズ／株式会社オスカープロモーション／株式会社オムニバス・ジャパン／株式会社共同テレビジョン／株式会社クリーク・アンド・リバー社／株式会社クレイジー・ティプイ／株式会社コスモ・スペース／株式会社ゴンゾ／株式会社松竹映像センター／株式会社スクウェア・エニックス／株式会社スターダストプロモーション／株式会社スタジオディーン／ソニーピーシエル株式会社／高津装飾美術株式会社／太陽企画株式会社／株式会社ティー・ワイ・オー／株式会社TTR／株式会社デジタル・ガーデン／株式会社テレビマンユニオン／株式会社電通クリエーティブX／東映株式会社／東映デジタルラボ株式会社／東映ラボ・チック株式会社／株式会社東北新社／株式会社ドキュメンタリージャパン／株式会社日企／日本音響エンジニアリング株式会社／日本放送協会／ヌーベルアージュ株式会社／株式会社博報堂プロダクツ／株式会社ハッチ／株式会社バスク／株式会社マッドハウス／株式会社MAPPA／レスパビジョン株式会社／株式会社ロボット ほか

# 美術学科

8つのアート1つのハート  
**NHU**  
**Art**

日本大学藝術学部

日藝  
1921-創設100周年-2021  
Nihon University College of Art

作品紹介 **Gallery**



主な施設 **Facility**



# 美術学科

## 無限に 変化を 遂げる 美の原点

美術はさまざまな芸術の中で、歴史的にも大きな役割を担ってきました。そしていま、科学技術の進歩や生活革新が急速に進み、美術も多様な変化を生み出しています。このような美術の変化を見極める一方で、過去から現在、未来へとつながる普遍的な「本質」を探り、人間が本来持っている豊かな創造力を育て、新しい美術の創造をめざす人材育成を教育理念としています。

### 学びのポイント Keyword

1  
POINT

#### コースと専攻

絵画コース、彫刻コースの2コース制を基に、絵画専攻、版画専攻、彫刻専攻、地域芸術専攻（新設）で構成されています。それぞれの専門性にしっかりと軸足を置いたカリキュラム編成と少人数教育により、学修効果を高めます。演習や実習・創作活動と並行し充実した理論・歴史部門、研究部門の科目も設置し、作家育成と同時に、美術教員、学芸員、批評家などアートに携わる人材を育成します。

### コース紹介 Course

#### 絵画コース 絵画専攻

絵画の基礎および普遍性を重んじ、4年間じっくりと腰を据えて「絵画」を学び「絵」を描けるのが、絵画コース絵画専攻の最も大きな特徴といえます。日藝のキャッチフレーズは「ふつうじゃない、が、ふつうです」ですが、「普通」とは「普遍に通ずる」ということ。そのためには、まず描るべき基礎を培うことが何より重要であり、その先にこそ「絵画」を学ぶ本質が現れてくると考えます。特に1・2年次は、デッサンおよび油彩で「人体」を描くことを基本に据え、西欧近代以降の色、形、コンポジション、そして絵画空間の考え方を主軸としたカリキュラム構成です。日藝絵画での4年間は、絵画による表現の確立とともに、個々の自立を目指します。



#### 絵画コース 版画専攻

版画専攻では描くことの基礎的な力を身につける為に、対象の中にある構造を理解し具体化することでデッサン力を身につけます。そして、鉛筆による細密描写やムービングによるドローイング、ペンによるイラストや製本による絵本制作、活版印刷によるイメージとことばのコラボレーションなど、感性を刺激する授業を行います。そして、感性を磨きながら、イメージを写し取る版画表現の基礎から応用まで学びます。紙の持っている可能性にも着目し、表現や素材の幅を広げていきます。表現を深めることにより個々の作家としての自立を目指します。基礎的な力を踏まえながら、版の表現を学びます。各自の研究制作の糧となるよう、しっかりと基礎を固めます。



#### 彫刻コース 彫刻専攻

現代の芸術の輪郭は非常に柔軟で、時間的進度が早くその価値を判断することを見解できない状態にあります。そんな柔軟な輪郭を持つ芸術それぞれに教育理念と方法があります。しかし通底するのは、個人の視座の育成以外ありません。ものを見る力、ものを造る力を育てることは、彫刻の視座を持つことであり、時代に流されない人格形成の基盤となります。自然観察、塑像によるモデル実習、実在実習（木、石、鉄）等を通じて彫刻の基礎を修得し、個々の自由な発想による自主制作へと進みます。4年間という貴重な時間を、作品を制作するという時間に費やすことは、彫刻という輪郭から社会との接点を考えることと同義であると考えています。



#### 彫刻コース 地域芸術専攻

社会が抱える問題をアートの力によって、直接社会と繋がり、人の心を豊かにする実践力を身につけます。日藝の彫刻コースでは、2004年より参加している大地の芸術祭を中心に、アートの力を信じて日本における社会問題に、真摯に向かい合っている実績があります。地域芸術専攻ではこうした活動で生まれる様々なコミュニティに対応可能な視野の広い経験値を持った人材を育成します。これまでの活動を通じて日本の抱える問題をアートの力で変えていく可能性があることは、少しずつ浸透してきました。こうした社会の動きの中で生まれた活動と新たな行動を起こすことの勇気を継続していきます。体験による経験を糧に社会で生きる力をつけてもらいたいと考えています。



### 4年間の流れ Process

	1年次	2年次	3年次	4年次
絵画専攻	自画像、基礎デッサン、静物、人体、風景、イメージ、ドローイング	自画像、静物、人体、インスタレーション、イメージ、ドローイング	自画像、静物、人体、インスタレーション、イメージ、ドローイング	卒業制作
版画専攻	「感性を刺激する」基礎デッサン（鉛筆・ペン他）、基礎素材、色彩（アクリル・水彩・色鉛筆・パステル他）、イメージドローイング	「表現を広げる」版による基礎（リトグラフ・銅版・木版・活版・モノタイプ他）、イメージによる基礎（イラスト・絵本他）、イメージドローイング・ポックスアート	「表現の選択する」版による応用（リトグラフ・銅版・木版・活版・モノタイプ他）、イメージによる応用（イラスト・絵本他）、イメージドローイング	「表現を深める」卒業制作
彫刻専攻	木彫（デッサン）、塑像（首）、実材実習（木・石・鉄）、人体塑像、石膏取り	人体塑像、石膏取り、テラコッタ実習、実材実習（木・石・鉄）、シリコン、FRP実習	自由制作I・II・III・IV、塑像	卒業制作
地域芸術専攻	木彫（デッサン）、塑像（首）、実材実習（木・石・鉄）、人体塑像、石膏取り、デッサン基礎（地域芸術専攻のみ）	PC基礎、基礎デザイン、写真、映像、リサーチアート、制作実習（芸術祭）等、インターン等	リサーチアート、インターリサーチ、展覧会構成演習、個別演習、ゼミナー	インターン、卒業論文／卒業制作
共通	デッサン、版画基礎、彫塑 美術史概論、美術作品研究 美術特別講座、美術特別研究	デッサン、版画基礎、彫塑 美術史概論、美術作品研究 美術特別講座、美術特別研究	美術学、解剖学、素材研究、西洋美術史、東洋美術史、美的構成研究、美術作品研究、古美術研究	版画概論
教職	デザイン論、国学 工芸演習、美術科教育法	デザイン論、国学 工芸科教育法	美術教材研究、映像メディア研究	教職実践演習（中・高）美術、教育実習事前・事後指導

### 卒業後の進路 Career

美術作家として活躍する他、一般企業で美的センスを生かした仕事に就く人が多くいます。  
また、教員、学芸員として活躍する人が多いのも特徴です。

#### 【過去3年間の実績】

株式会社ヴェルデ／KIT株式会社／東急ステイサービス株式会社／株式会社ユナイテッドアローズ／日本美術工芸株式会社／青山商事株式会社／株式会社ディーエイチシー／株式会社風工房／株式会社Going／日研トータルソーシング株式会社／株式会社ピーアンドピー／株式会社アディック／株式会社ダイニチ／株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス／エクシオ物流サービス株式会社／ハッピーライケア株式会社／町田市教育委員会／株式会社村井／株式会社ローザ／ジュングループ／シンコール株式会社／丸真株式会社／葉隱勇進株式会社／株式会社イー・アイ・ソル／株式会社EMOTION／株式会社サンライズ／株式会社善波／株式会社アレックス／株式会社東京堂／株式会社グッドスマイルカンパニー／株式会社こどもの森／城北伸鉄株式会社／株式会社ロビア／株式会社明日葉／バーンルキャリア株式会社／株式会社エヌリンクス／学校法人五浦学園 ママの森幼稚園／日本郵便株式会社／警視庁職員信用組合／ファシリティパートナーズ株式会社／埼玉県教育委員会／品川区教育委員会／株式会社コベル／Art word株式会社／やないづ町立斎藤清美術館／株式会社ベネッセスタイルケア／東京都教育委員会／まいばすけっと株式会社／松本市立筑摩野中学校／株式会社ワールドホールディングス／ソフィーナビューティカウンセリング株式会社／株式会社マーキュリー／有限会社スタジオMAO／木曾町役場／有限会社花の進化園／株式会社ぎゃろっぷ／一般財団法人木曾賀川記念館／株式会社エナジード／株式会社キャメル珈琲（カルディコーヒーファーム）／株式会社レナウン ほか

## 学科の活動 Activity



5 情報音楽コース レコーディング風景

6 声楽コース オペラ公演



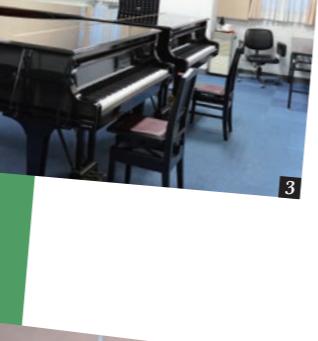
3 ピアノコース ピアノコンサート

4 弦管打楽コース ウィンドオーケストラ定期演奏会

5 情報音楽コース レコーディング風景

6 声楽コース オペラ公演

## 主な施設 Facility



5 音響測定室



4 音楽学科スタジオ

5 音響測定室



# 音楽学科

## メロディに 姿を変えた 感情の化身

音楽学科は、芸術総合学部の音楽学科として、広い視野と豊かな教養を培いながら、深い専門知識を身につく、深い専門知識を身についた音楽人を養成しています。作曲・理論、音楽教育、声楽、ピアノ、弦管打楽、情報音楽の6コースに分かれ、報音楽を実施。豊かな人間性を備えてこそ一流の演奏家、音楽人であるという考え方のもと、教授陣と学生同士のふれあいを大切にしたきめ細かな個別指導を行っています。

### 学びのポイント Keyword

POINT 1

#### 6つのコース

本学科は、作曲・理論、音楽教育、声楽、ピアノ、弦管打楽、情報音楽の6つのコースで構成されています。創作、教育、演奏という大きな柱のもと、幅広い教育を開展。1年次で音楽史や音楽理論、和声、ソルフェージュなどを学び、各コースの基礎的な知識や技術を習得します。

POINT 2

#### マン・ツー・マン教育

各分野の第一線で活躍する講師陣が、学生一人ひとりの特性を把握しながら親身な指導を行っています。作曲や声楽、各種楽器の実技やセミナーでは、学生の個性や感性を尊重。マン・ツー・マン体制でレッスンを行い、独自の方向性や表現力を生かした自由な創作活動に取り組めるよう、徹底したサポートを実施しています。

POINT 3

#### 徹底した実技演習

本学科の学びにおいて特に力を入れているのが、作品創作、研究論文、実技演奏の習得。実技演習を行う授業を多数用意し、確かな技術と豊かな人間性を兼ね備えた一流の演奏家・音楽人を育成しています。また、国内外の著名講師を招いての特別講義や、社会との交流を図る地域コラボ、定期演奏会やオペラ公演、ピアノコンサートなど、学習意欲を高める取り組みも実施しています。

### コース紹介 Course

#### 作曲・理論コース

一人ひとりの学生に、自分自身の創作の世界を見つけ独創的で良質な音楽を生み出していって欲しい、そんな考えのもと作曲コースでは、第一線で活躍する経験豊かな作曲家たちが、学生の個性を大切にした丁寧な指導を行っています。クラシック音楽の作曲技法の学習をベースにしながら、現代音楽、日本の伝統音楽、民族音楽、映像や演劇の音楽、最先端のテクノロジーの学習などを絡めて創作の幅を広げていくことが可能です。オーケストレーションや、作曲家の発想を演奏家に正確に伝える技術としての記譜法など、実践的な側面の学習にも重点を置いていて、学生が作曲した作品を実際に音にしてみる機会も充実しています。

理論コースでの研究の対象は、理論、作曲家、作品、楽器、歴史、文化、社会など極めて多岐にわたります。授業では、音楽学的研究の多様性と、それらにアプローチしていくためのさまざまな方法を、基礎から学ぶことが出来ます。その後、各々の学生が選びとったテーマについて、その領域のスペシャリストの指導のもとに研究を深め、卒業論文の作成を目指します。西洋音楽はもちろんのこと、日本の伝統音楽や世界各地の民族音楽、あるいは、現代の音楽などについて学ぶ機会も充実しています。和声、作曲、音楽形式、作品分析などの学習、また、ピアノや声楽などの演奏技術の習得にも力を注いでいます。

#### 音楽教育コース

音楽教育コースでは、中学・高校の音楽科教員の養成を行っています。本コースの特徴の1つは、音楽科教員として身につけておきたい音楽療法の知識とスキルが学べることです。近年、文部科学省はインクルーシブ教育を推進しており、学校現場ではさまざまな背景をもつ生徒に対応できる音楽科教員が求められています。音楽療法の視点に基づく知識や生徒への対応力などを身につけておくことは、音楽科教員として大きな強みとなるでしょう。また、従来の学校教育を基盤として、さらに柔軟な視点をもった音楽教育実習や学習指導要領に沿った雅楽や箏などの邦楽器が学べる授業もあります。新たな発想で音楽教育の「今」を見据え、これからの時代が求める音楽科教員を養成していきます。

\*令和元年度以降の入学者は学会認定音楽療法士(補)の受験資格は取得できません。

#### 声楽コース

声楽コースは、歌うことの大好きな人たちばかりです。大きな響く声で笑っていたら、それはきっと声楽コースの学生です。もちろん先生はもっと大きい声で、もっと響く声で、笑っているでしょう。とは言え、大学の音楽学科で勉強して、歌うことのプロを目指している学生なので、基礎の歌曲からちょっと難しいオペラまで幅広く勉強し、お客様に歌ひを分け与えられる歌手を目指して、日々精進しています。語学や一般教養で人間を磨き、レッスンや合唱の時間、オペラ実習などで実践を重ね、オーケストラと共に演じたり、マイクをしてオペラの舞台に立ったりします。きっと楽しい学生生活が送れることでしょう！



#### ピアノコース

ピアノコースは、徹底したマン・ツー・マン教育(個人レッスン)により、各自の志望を尊重しつつ、個性豊かな演奏能力の向上を目指します。ピアノを生かす道は、演奏家、伴奏者、指揮者などさまざまです。基礎的な訓練から、より高度な技術の習得に向けて、バッハから古典派、ロマン派、より高度な近・現代音楽にいたる段階的なレパートリーのカリキュラムをもとに、必要な表現力、ヘダリング等の技術を学びます。それらの研究成果を、試演会の舞台で発表し、研鑽を積んでいます。

また、試演会により、ピアノコンサート、定期演奏会、その他にも室内楽、ピアノコンチェルト等の発表の場が用意されています。



#### 弦管打楽コース

独奏、室内楽、管弦楽、吹奏楽などのさまざまな演奏形態への対応が求められる弦管打楽コースでは、各分野とも演奏の実践教育を中心に、少人数制による徹底した演奏家養成教育を行っています。

指導にあたるのは、世界各国で開かれるコンクールで審査員を務めたり、あるいは日本を代表するソリストやオーケストラの首席演奏者など一流的講師陣。現場での体験を生かした実践的な指導により、演奏家としての高度な実力と実践力を養えます。オーケストラ定期演奏会や、ワンドオーケストラの演奏会、室内楽演奏会など、発表の場がたくさん設けられているコースです。卒業後は自衛隊や消防・警察音楽隊への入隊や、中学・高校の音楽教師などへの道に進む学生もいます。



#### 情報音楽コース

情報音楽コースでは、音楽情報処理技術を身につけ、これまでにない新たな音楽分野を開拓しています。コンピュータが日常社会に普及して、音楽表現のありかたや音楽ビジネスはここ数年大きな変容を遂げました。この状況に対応するため、情報音楽コースでは、音楽の学習とともに、音響学、音楽情報処理の徹底的な指導によって、最先端の表現を可能にする人材を育成しています。国内外で活躍する教員の指導のもと、Pro Toolsなどの音楽制作で広く用いられているソフトウェアはもとよりC言語、Python、MaxMSP、Arduinoなど、より専門的な研究のためのソフトウェアも授業で取り扱います。アーティストとして活躍する卒業生、アイドルグループの作曲家、ソニー・ミュージックエンタテインメント、エイベックスなどのレコード会社、セガ、バンダイナムコエンターテインメントなどのゲーム会社、日本テレビなどの放送業界、AppleやGoogleなどのIT業界、メーカーに多くの卒業生を送り込んでいる実績があり、4年間で学んだ表現力、研究開発力、実行力を世に証明しています。



#### 卒業後の進路 Career

演奏家や音楽家だけでなく、教員などの専門職、楽器製造会社、レコード会社、エンターテインメント企業など、幅広い分野で活躍しています。

#### 【過去3年間の実績】

一般財団法人ヤマハ音楽振興会／大島椿株式会社／株式会社SNK／株式会社アド・プロ／株式会社アリア・エンターテインメント／株式会社カウンターワークス／株式会社キュアラボ／株式会社劇団ひまわり／株式会社埼玉第一興商／株式会社サウンドフィックス／株式会社創英コーポレーション／株式会社タオ・エンターテインメント／株式会社アトルアカデミー／株式会社東通／株式会社ビーアイ／株式会社ファイブオックス／株式会社リオクリエイティブ／株式会社日テレ・テクニカル・リソーシズ／株式会社みづほフィナンシャルグループ／株式会社ヤマハミュージックジャパン／株式会社ヤマハミュージッククリエイティング／株式会社山野楽器／株式会社ロッキング・オン／クラシエホームプロダクツ株式会社／四季株式会社／島村楽器株式会社／タンゴヤ株式会社／東京建物不動産販売株式会社／ハイランドリゾート株式会社／USEN Business Design株式会社／消防音楽隊／自衛隊音楽隊／小学校教員／中学校教員／高等学校教員 ほか

# 文芸学科

2021.



LITERARY ARTS

作品紹介(2019年度に発行されたセミ雑誌の一部) Gallery

8つのアート1つのハート

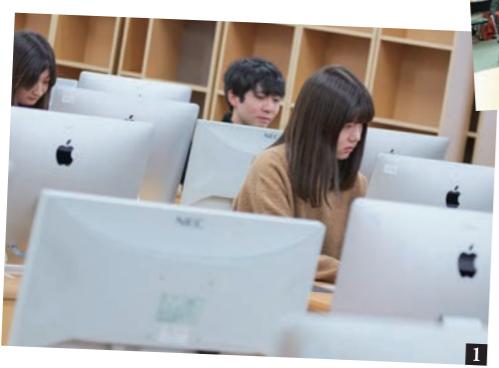
NU  
Art

日本大学藝術学部

白藝  
1921-創設100周年-2021  
Nihon University College of Art



主な施設 Facility



- ① DTP室
- ② 文芸ラウンジ
- ③ 文芸資料室
- ④ 出版編纂室



—文芸学科HPへ  
教員スタッフ・授業紹介ほか

# 文芸学科

本当の  
答えを  
見出す  
ために

文芸学科は、文学研究に主眼をおいた文学部の文芸学科とは異なり、文芸的な創造力と表現力を養うこと目的としています。つまり文学研究の場である以上に文学を紡ぎだす場であり、その領域は詩・小説・戯曲・批評にとどまらず、広くジャーナリズムの世界にも及んでいます。表現活動を通して、主体的に「文芸」そのものを理解する学科なのです。

## 学びのポイント Keyword

### POINT 1 創造と表現

本学科は、文芸的な想像力と表現力を培うことを目的としています。文学研究の場である以上に、文学を紡ぎだす場であり、その領域は詩や小説、戯曲、批評にとどまらず、ジャーナリズムの世界にまで及んでいます。本学科の教育の中心にあるのが、1年次から基本的な授業科目として設けられている「文芸研究（ゼミナール）」。創作活動の指導と実践を目的に、創作合評や「ゼミ雑誌」の編集を行います。

### POINT 2 実習と講義

本学科のカリキュラムの特色として、幅広い文学ジャンルへの関心を深めるための講義が充実していることがあげられます。文芸創作、ジャーナリズム、DTPなどの各分野について、専門的な知識と経験が身につく授業を数多く用意。書くことや発表することに積極的に取り組み、知的創造力にあふれた人材をめざします。

### POINT 3 オムニバス授業

文学を深めていく準備として、文学への多様な入り口を知るオムニバス授業を実施しています。各界から著名な講師を招いて授業を行うことで、生きた知識が得られます。多彩なジャンルの文芸体験を通して、これから取り組む創作活動の方向性を探ります。

## 特別講座 Special lecture

現在業界で活躍している方々の新鮮な講義を積極的に取り入れるため、特別講座などを開講しています。生きた知識を得る機会がたくさんあります。

### [ 2019年度 文芸学科特別講座 ]

内容	講師	講座名(担当教員)
「ノートルダム・ド・パリ」を中心見る19世紀小説論	岸間卓哉	小説論(楊逸)
インドネシアの文化を探る～宗教・食・芸術・女性～	ペヌアジュ・セノアジ	文芸研究Ⅲ、文芸研究実習Ⅲ (ソコロワ山下聖美)
題目:「世間学」 西欧はいかにして世間をなくしてきたか	高橋靖典	文芸研究Ⅱ (佐藤洋二郎)
「多文化共生社会におけるイスラム文化と日本の文化」をテーマに招学者と教員及び学生とが国際交流・異文化交流を図り、今後の学生の国際交流に活かす	E・エルワン	文芸研究Ⅲ、文芸研究実習Ⅲ (ソコロワ山下聖美)
①脱経節「小栗判官矢取り」を聞く ②脱経節語りとして生きるということ	三代目若松若太夫師	日本文化史、文芸研究Ⅰ (上田薰)
「Indonesian & Japanese culture」をテーマに招学者と教員及び学生とが国際交流・異文化交流を図り、今後の学生の国際交流に活かす	エドリン・ヤヌール・ヌグラヘニ	文芸特殊研究Ⅰ、ジャーナリズム論 (ソコロワ山下聖美)
「生きることの多様性～災害ボランティアを通して得たこと～」「編集人生とその先」	石戸谷直紀	文芸特殊研究Ⅰ、ジャーナリズム論 (ソコロワ山下聖美)
「狂うひと「死の棘」の妻・島尾ミホ」はどうのように書かれたのかを探る	雪田倫代	文芸研究Ⅱ、文芸創作実習Ⅲ (楊逸)
「世界で読まれる日本文学」について	ペアタ・ゴヴァルチック	文芸研究Ⅳ、小説論(楊逸)
「作家の自死について」	志賀信夫	文芸研究Ⅳ(佐藤洋二郎)
できるだけ楽しく生きるために編集案内	安原真広	作家作品論(谷村順一)
「狂うひと「死の棘」の妻・島尾ミホ」はどうのように書かれたのか	梯久美子	作家作品論(谷村順一)
「英語落語の世界1」「英語落語の世界2」	須藤達也	文芸特殊研究Ⅰ、ジャーナリズム論 (ソコロワ山下聖美)

## 江古田文学

文芸学科の中に編集部を置く文芸誌『江古田文学』。「江古田文学賞」を受賞した卒業生の中には、現在、作家として活躍中の人もいます。

文芸学科では、在学生や芸術学部校友を中心にした江古田文学学会を設立し、文芸学科の中に編集部を置く文芸誌『江古田文学』を年3回発行。この文芸誌は、芸術を学ぶ場に生まれた雑誌にふさわしい、あらゆる創作者たちの文学的営為の拠点となる雑誌として、さまざまな特集を企画しています。『江古田文学』が主催する「江古田文学賞」では、小説・文芸評論などを公募スタイルで募集し、厳正な審査のもと年1回受賞者が発表されています。特に第4回受賞者の文芸学科生・飯塚朝美さん(2006年度卒)が2008年度の「新潮新人賞」を受賞して作家デビューするなど、めざましい成果を挙げています。

## 4年間の流れ Process

### 1 年次

文芸学科では、1年次から少人数制の文芸研究I(ゼミ)があり、作品研究発表や、創作を読みあっての合評、「ゼミ雑誌」の編集など、少人数だからこそ可能な授業を行っています。また、DTP演習など、専門技能を身につけるための実践的な授業も、1年次より履修することができます。

### 2 年次

1年次は学生証番号によってクラス分けされた文芸研究I(ゼミ)で学ぶことになりますが、2年次の文芸研究IIからは、希望により、小説・詩・文芸批評・ジャーナリズムなど、専門分野に特化したゼミを選択することができます。ゼミで学び、「ゼミ雑誌」の執筆・編集に参加しながら、各自の方向性を見定めていきます。この、文芸学科のゼミの最大の特色である「ゼミ雑誌」の制作は、実際の本づくりと同じプロセスで各ゼミがひとつの編集部的に機能していくリアルな演習です。どんなブックデザインにするのか？作品集的な内容にするのか？雑誌的な内容にするのか？……などを、指導教官の指導のもと、学生が自主的に企画編集し、収録作品も執筆していきます。さらには、予算内でどこまで凝った本ができるか、印刷所と交渉するところまで含めた、実践的過程を学ぶことができます。



### 3 年次

3年次の文芸研究III(ゼミ)は、卒業まで2年連続して同じゼミに参加し、最終成果としての卒業論文・制作まで視野に入れます。純文学、エンターテインメント、ジャーナリズム、文芸評論、エッセイ、詩、短歌、俳句、漫画など、幅広いジャンルに対応する各ゼミの中から、各々の特性に合ったゼミを選択して、創作や研究を深めています。



### 4 年次

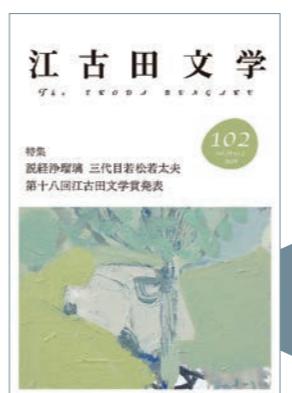
文芸研究IVでは、3年次と同じ先生、同じメンバーのゼミで、卒業論文・制作に向けての指導が行われます。文芸学科では、ページの上に各々の個性と才能を結実させることが「文芸創作表現」であると捉え、制作として小説のみならず、シナリオ、エッセイ、詩集、短歌・俳句、漫画なども文芸表現の形式として認め、卒業制作として受理しています。これは卒業後の活動のための、実践的な挑戦の成果となることでしょう。

## 卒業後の進路 Career

出版・印刷(編集、DTP、ライター)、広告(企業宣伝、イベント制作)などの他、中学・高校教員やパソコンスキルを生かした一般職に就く人もいます。

### 過去3年間の実績

株式会社竹書房／株式会社プロダクション・アイジー／株式会社Cygames／株式会社美術出版社／株式会社トップカルチャー／株式会社晋遊舎／はるやま商事株式会社／アイワ広告株式会社／株式会社くまとわ書店／株式会社講談社／株式会社日経エージェンシー／株式会社幻冬社コミックス／株式会社メディアドゥホールディングス／アサヒド株式会社／株式会社ゲオホールディングス／ユザワヤ商事株式会社／日本書道美術館／株式会社三洋堂ホールディングス／株式会社朱夏／株式会社エーティー・エックス／株式会社クリエイト／高橋庄作酒造店／株式会社朝日広告社／株式会社タツノコプロ／東宝芸能株式会社／株式会社産業編集センター／株式会社Gizumo／株式会社ヒノヤグループ／株式会社スタジオディーン／株式会社シリウス／株式会社春企画／リックキッズ株式会社／株式会社ローソン／株式会社貴和製作所／株式会社アラジンイデア／株式会社国大セミナー／ほか



## 総合実習・卒業制作 Performances



8つのアート1つのハート

Nihon University College of Art  
Art

日本大学藝術学部

百藝  
1921-創設100周年-2021  
Nihon University College of Art① 総合実習 演劇  
「ガラスの動物園」

② 総合実習 日舞「いろいろ」

③ 総合実習 洋舞  
「Modern Dance Performance～ロンド・カノン形式による創作～」④ 卒業制作 演劇  
「街と飛行船」⑤ 卒業制作 日舞  
「轡」より「とんと恋噺」⑥ 卒業制作 洋舞  
「Modern Dance Performance」より

## 主な施設 Facility



- ① 中ホール
- ② 実習室
- ③ 小ホール
- ④ 大道具制作室

— 演劇学科HPへ  
教員スタッフ・授業紹介ほか

## 演劇学科



# 演劇学科

## 一体化 多彩なする THEATREと 魅力の 芸術の

演劇学科では、時代とともに変貌し、多種多様な表情を見せる演劇を、理屈的かつ実践的に研究し、より創造的な表現を生み出す方法と技術を磨くことを目標としています。カリキュラムは「理論と歴史」「表現方法と技術」の2分野で編成され、1年次からそれぞれの分野の専門基礎科目を履修。特に「表現方法と基礎科目」の分野では、コース別で専攻基礎の教育に力を注いでいます。また、実習授業や作品の学外発信活動、演劇系大学共同制作への参加、国内外の演出家を招いてのワークショップなど、多くの発表の機会を用意しています。さらに福祉・教育等、演劇の応用領域に関する実践的な研究も重ね、新しい形のシニアワーク、演劇を通じたカルチュラルワーク、演劇を通じたアートワークなどの開発にも、積極的に取り組んでいます。

### 学びのポイント Keyword

POINT 1

#### 理論と実践

「理論と歴史」「表現方法と技術」の2分野で編成されたカリキュラムを創造的に組み合わせます。時代とともに絶えず変貌を繰り返し、多種多様な表情を見せる演劇を理論的かつ実践的に研究し、より創造的な表現を生む方法を編み出し、表現技術を磨くことをめざしています。実習授業や作品の学外発信活動、演劇祭への参加、国内外の演出家を招いてのワークショップなど、学習意欲を刺激する学びも用意しています。

POINT 2

#### 4つのコース、10の専攻

2020年度入学者からは、「舞台構想」(劇作、演出、舞台監督、音響、企画制作)、「演技」(演技)、「舞台美術」(美術、照明)、「舞踊」(日舞、洋舞)の4コース10専攻へと学べる分野が増えます。「舞台構想」コースでは、1年次には5専攻のうち興味のある複数分野の基礎を履修し、2年進学時に自分の専攻を決めることができます。4年間をかけて基礎から応用までを徹底的に学び、知識と技術に裏づけられた創造的な表現力を培っていきます。

POINT 3

#### 総合実習

総合芸術である舞台芸術は、それぞれのパートが協調することで完成するもの。「総合実習」は、演出、演技、舞踊、装置、照明、音響など、すべてのパートを学生が担当し、ひとつの舞台を創り上げる授業です。計画から上演、公演の評価にいたるまでのプロセスを通して「見えること」と「見せること」を舞台上でどのように表現していくかを実践的に学び、演劇への理解を深めています。

### 教育研究上の目的 Purposes

「理論と実践」「基礎と応用」「専門と総合」のバランスに配慮したカリキュラム体系、並びに学生の個性・習熟度に応じた教育体制を整備し、現代社会における演劇・舞台芸術の役割についての高い見識と、その新しい可能性をひらいていくための技術・創造力を兼ね備えた人材を養成します。

### 教育理念 Policy

演劇学科は、新制大学基準に則り、1950年4月、日本大学芸術学部における6番目の学科として発足しました。新制発足以前にも、専門部演劇学科あるいは法文学部芸術学科美学専攻といった部門があり、それらを含めると、すでに創設から70年の歴史を有し、7,000人以上の卒業生を社会へ送り出しています。新制当初から演劇学科の教育理念は、演劇の理論、歴史、技術の基礎教育を通じて、感性豊かな人間性の開発と専門的教養の修練に集約されますが、当初新制大学の基準やカリキュラムは、かなり文学的性格の強いもので、演劇教育の実践的特殊性を盛り込むには難点も多かったといえます。1960年頃から、演劇学科の構想が学部にも認められ、独自のカリキュラム編成が行われました。特にカリキュラム全体の相互関係と有機性を重視し、4年間における学習面の透視から、コース制の充実を図りました。

演劇学科の教育の基本は、演劇を原理的に研究し、歴史をふまながらも、より創造的な表現を生み出す方法と技術の基礎を研究し、練成することにあります。2020年度からは「舞台構想」(劇作、演出、舞台監督、音響、企画制作)、「演技」(演技)、「舞台美術」(美術、照明)、「舞踊」(日舞、洋舞)の4コース10専攻となり、より幅広く舞台芸術について学ぶことができるようになりました。

「演劇」は、人間の生きる営みに密着して、数千年の歴史や伝統を引継ぎながら、しかも刻々と変貌しつつあります。現象の皮相に浮動することなく、今を生きる人間にとて、演劇とは何かを根本的問いとして新たに創造的な演劇のあり立ちを志向するのが演劇を科学するということです。その意味で、それは人間の根源を追求する科学といえます。

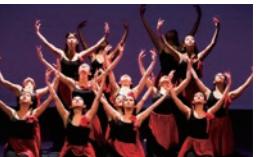
演劇学科の教育の在り方、具体的な教科も、人間の営み(歴史と伝統)を縦軸に、表現に関わる原理と技術を横軸に構成しており、専門科目は、A.理論・歴史部門、B.研究部門、C.表現技術部門の3部門から編成しています。



総合実習

### コース紹介 Course

「舞台構想」(2年進学時に、劇作、演出、舞台監督、音響、企画制作専攻へ)、「演技」(演技)、「舞台美術」(美術、照明)、「舞踊」(日舞、洋舞)の4コース10専攻に分かれ、舞台芸術に関する知識や技術を学びます。



#### 舞台構想コース

##### 劇作専攻

「戯曲」は舞台芸能のもっとも基本になるものです。この専攻では、戯曲を「読む」「書く」というトレーニングを通して、劇作家の養成を目指します。

##### 新専攻 舞台監督専攻

舞台の締帳の後ろ側の責任者である舞台監督の仕事は実際に多岐にわたります。この専攻では、舞台監督演習、舞台技術研究などの講義と実習を通じて、舞台創造における舞台監督の役割について学びます。

##### 企画制作専攻

「社会と演劇をつなぐ」視点からのプロデュースがますます重要になっている今、演劇界でプロデューサーや企画制作になりたい人のための演劇の基礎から最新のトピックまでを学びます。

#### 演技コース

##### 演技専攻

演者に必要な基本的な理論、舞台表現方法、そして技術を身につけます。また総合実習や上演実習、演技実習などの各実習を通じて、体験と修練を重ねます。

#### 舞台美術コース

##### 美術専攻

舞台における美術表現の基礎的訓練を通して台本及び演出意図に基づいた空間構成を学びます。そのため基礎理論、方法論、表現技術などを身につけ、総合実習を通して実際に美術デザインを学んでいきます。

#### 舞踊コース

##### 日舞専攻

舞踊の理論と歴史、舞台表現にいたる基礎理論を身につけます。それとともに日本舞踊の古典技法の基礎を練習し、創作法も学んで、自分たちで創作した作品を舞台で発表します。

#### 卒業後の進路 Career

劇場、興行会社、劇団、プロダクションなど舞台関係だけでなく、テレビ制作会社、美術製作会社など映像業界や一般企業に進む人もいます。

##### 過去3年間の実績

松竹株式会社／四季株式会社／株式会社東急文化村／東京シティバレエ団／吉本興業株式会社／独立行政法人日本芸術文化振興会／株式会社オリエンタルランド／株式会社ユース・ジェイ／株式会社サンリオエンターテインメント／株式会社WOWOW／株式会社AOI Pro.／株式会社泉放送制作／株式会社テレビ朝日クリエイト／日本映画放送株式会社／株式会社セガゲームズ／株式会社バンダイナムコピクチャーズ／USEN Business Design株式会社／株式会社シースリーフィルム／株式会社無名塾／株式会社シアタークリエイション／株式会社共立／株式会社バシフィックアートセンター／株式会社シグマコミュニケーションズ／株式会社シミズオクト／株式会社明治座／株式会社宝塚舞台／株式会社川本舞台照明／株式会社アクシス／株式会社電通クリエイティブX／株式会社博報堂プロダクツ／株式会社ティ・ジョイ／株式会社ディー・エヌ・エー／松竹衣裳株式会社／株式会社東宝コスチューム／株式会社東舞トータルサービス／一般財団法人松本市芸術文化振興事業団／一般財団法人長野県文化振興事業団／特定非営利活動法人アートネットワーク・ジャパン／チャット株式会社／株式会社マナセプロダクション／株式会社大津事務所／株式会社レプロエンタテインメント／スペースクラフト・エンタテインメント株式会社／株式会社ホテルオークラ東京／株式会社東急ホテルズ／株式会社東急リゾートサービス／株式会社ホテル小田急／ソフトバンク株式会社／株式会社日能研／NECフィールディング株式会社／株式会社ボーラ／株式会社西松屋チーン／セントラルスポーツ株式会社／株式会社ベイクルーズ／株式会社はとバス／綿半ソリューションズ株式会社／株式会社りそな銀行／第一生命保険株式会社／全国農業協同組合連合会 ほか

## 主な施設 Facility



## 地域貢献 Regional Contribution



8つのアート1つのハート

N U  
Art

日本大学藝術学部

白藝  
1921-創設100周年-2021  
Nihon University College of Art

## 放送学科

# 放送学科

# 身に つけるのは CASTING 発信力

テレビ(映像)もあれば、ラジオ(音声)もある。そして今やインターネット(動画配信)もある。報道、教養、娯楽、CMなど情報文化のさまざまなジャンルをカバーし、コンテンツも急激に増えている。放送はとても間口が広く、大きな可能性が広がっている世界です。放送学科では、常に理論と実践を総合的に学びながら、個性豊かな創作能力を育み、社会への「発信力」を身につけます。

## 学びのポイント Keyword

POINT 1

### 7つの専門分野

1年次前期に「映像制作演習」「音響制作演習」で基礎的な知識と技術を身につけ、1年次後期からはテレビ制作・ラジオ制作・映像技術・音響技術・CM・脚本・アナウンスの7分野に分かれ、実習を軸に専門分野の学びを段階的に深めています。

POINT 2

### 多彩な専門科目

理論歴史部門、研究部門、表現技術部門の多彩な専門講座や豊富な演習を通して、放送に関わる幅広い教養と専門分野の知識を学め、時代が求める真の発信力を育んでいます。

POINT 3

### 卒業研究

3・4年次では、それぞれが設定する研究テーマに基づいてセミナーに所属し、卒業論文あるいは卒業制作(映像作品・音響作品・脚本・朗読発表・アナウンス)に取り組み、4年間の学びの集大成となります。

## 実習 Practical training

### テレビ制作実習

テレビ制作分野では、実際の番組を想定して、企画立案から作品完成までを実践的に習得します。単に作品制作を行うだけではなく、テレビ番組の社会的な役割や影響力を十分に認識して、受け手を意識した制作姿勢をとることが送り手には不可欠。そのため題材を発掘する目を養うことから始め、作品制作を通して構成力や表現方法など、演出的な考え方を身につけることを軸に制作を進めています。またテレビ制作で重要なことはチームワーク。共同で制作することの難しさや尊さを体得しながら、協調性や責任感を身につけ、実社会で通用する人材を育成します。



### ラジオ制作実習

音楽番組・ドラマ・録音構成など、音響作品を制作するための演出や技術、創造性を身につけることを目的としています。スタジオワークを通して、音響表現の知識・技術を習得し、ドラマをはじめとした音響作品や様々な形式の番組を企画制作します。実践的な学びにより制作者としての創造性を高め、高度な演出力を養います。自分の思い描くイメージを音と言葉でどのように紡ぎ、作品に結実させるかを意識し、制作を積み重ねながら、個々の感性や能力を磨いています。



### 映像技術実習

実際に番組制作を行なながら、テレビ映像の技術を理論と実技の両面から習得します。「映像技術I」ではロケーション、ノンリニア編集の基礎技術を、「映像技術II」ではテレビスタジオを使った番組制作を通して、カメラワーク、ビデオスイッching、オーディオミキシング、照明技術を習得。「映像技術III」ではさらに、ドラマ撮影技術、中継技術、MA技術など、高度な実践力を養います。また、最新の技術に対応できるよう、芸術的感性と創造力の育成にも力を入れた柔軟なカリキュラムを用意しています。



### 音響技術実習

テレビ・ラジオなど放送の音声を起点に、広い分野の音響技術を理論と実践を通して学びます。スタジオでの実習を通して放送ミキシングの基礎や音楽録音の基礎技術を習得。デジタルオーディオワークステーションを使った音楽収録と編集・ミックスなど、理論と並行して専門的な技術を段階的に学んでいます。さらに、テレビ番組制作に必要なMA技術や、常に最新の音響技術も幅広く取り上げて学習。音に関する感性を育み、確かな専門技術力を備え、放送分野に限らず新しい音の世界を切り開いていく人材を育成します。



### CM実習

CMクリエーターの育成が目的。ラジオ・テレビCMを企画・制作するための基礎知識を理解した上で、発想法から企画、コピー・コンテ制作、プレゼンテーション、CM制作までの実践的なトレーニングを行っています。企画から実践まで、一貫して学ぶことでCM制作のメカニズムを理解するとともに、時代や個性を意識しながら創造力を育成することをめざします。「放送広告論」「広告とマーケティング戦略」「作品研究」など、さまざまな面からCMを考える科目を用意し、クリエーターとしての資質を引き出します。



### 脚本実習

テレビ・ドラマ脚本の執筆に取り組みます。映像ドラマの特質をふまえ脚本の技術の習得をめざすと同時に、作家としての自己のテーマの発見、メッセージの深化をめざします。課題は個人ワークが中心ですが、ディスカッションを通して作品を練り上げたり、受講者が互いの脚本を分析し合ったりする機会を積極的に設けています。オーディオドラマ脚本については、課題に取り組む受講生に対してアドバイスを行います。



### アナウンス実習

アナウンス実習では真のコミュニケーション能力取得を学びの目標とします。そのためにまず、呼吸法・発声・発音の基礎を学び、さらに五十音・滑舌・イントネーション・アクセントなどを反復練習することで標準語の音声表現に不可欠な技術を身につけます。ドキュメンタリーのナレーション、CM、朗読など、個別指導で各々の感性を尊重しつつ表現の可能性を探求します。同時に語彙力を高め、世の中の出来事や動きに日々意識を向かせることで、実社会が求める「TPOに応じて、自分の考えを、自分の言葉で、簡潔に相手に伝える」能力を育成します。



### 卒業後の進路 Career

テレビ・ラジオ局、番組制作会社、広告代理店などへ多数進出しています。  
脚本家、アナウンサー、放送作家、タレントとして活躍する卒業生もいます。

### 【過去5年間の実績】

株式会社AOI Pro./株式会社ADKアーツ/株式会社イースト・エンタテインメント/株式会社泉放送制作/株式会社IMAGICA Lab./株式会社WOWOW/株式会社NHKテクノロジーズ/MT&ヒルトンホテル株式会社/株式会社オフィストゥー・ワン/関西テレビ放送株式会社/株式会社共同テレビジョン/株式会社倉敷ケーブルテレビ/クラリオン株式会社/株式会社クリエイティブネクサス/株式会社高知放送/株式会社さくらんぼテレビジョン/四国放送株式会社/四季株式会社/株式会社ジュビターテレコム/松竹株式会社/株式会社創輝/千葉テレビ放送株式会社/株式会社TBSテレビ/株式会社ティー・ワイ・オー/株式会社テレビ東京/株式会社テレビ制作/株式会社テレビマンユニオン/株式会社電通/株式会社電通クリエーティブX/株式会社東急エージェンシー/株式会社東北新社/株式会社ドキュメンタリージャパン/株式会社日テレ アックスオン/株式会社日本経済広告社/日本コロムビア株式会社/日本放送協会/株式会社博報堂プロダクツ/株式会社フジテレビジョン/毎日放送株式会社/株式会社三菱東京UFJ銀行/株式会社宮城テレビ放送/ユニオン映画株式会社/讀賣テレビ放送株式会社ほか

# デザイン学科

• NU ART •

# DESIGN

8つのアート1つのハート

N U  
A r t

日本大学藝術学部

日藝  
1921-創設100周年-2021  
Nihon University College of Art

学びのシーン Scene



# デザイン学科

社会に  
問題意識と  
アイデアを提案し  
秩序や仕組みを  
可視化する

1年次ではあらゆる分野のデザインの基礎を、実践を通して総合的に学び、幅広い知識と柔軟な発想力と技術力を培います。2年次以降は各自の志望分野に合わせて自ら高度な専門性の体得を目指します。デザイン学科では豊かな感性と鋭い洞察力を身に付け、デザイン思考と専門的技術で多くの問題に解決を提案できる力を持つ総合的視野と造形力のあるデザイナーを育成します。

学びのポイント Keyword

POINT 1

## 芸術と技術の統合

デザインは、我々の社会環境と生活を豊かで快適にする役割を持っています。本学科では「芸術と技術の統合」を掲げたドイツ・造形学校 Bauhaus の教育システムを継承し、豊かな感性と鋭い洞察力を身に付けた、総合的視野と造形力の人材を育成。異なる要素を高い次元で融合させる地力とセンスを磨いています。

POINT 2

## ステップアッププログラム

1年次では、観察力と表現力を養いデザインの基礎知識と技術を修得。2年次からは自分が選択した分野を核しながら、分野を超えて多角的な視野を養い、多様な問題に対するデザイン思考を深めています。3年次は専門性をさらに高めるために、実践的なデザイン業務も体験。ものごとを横断的に捉える見方を身に付け4年次の卒業制作に繋げています。

POINT 3

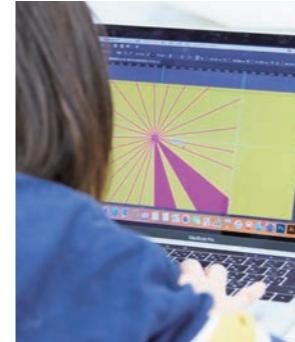
## 学外コラボレーション

他校、地域、企業とのコラボレーションプロジェクトを通してデザインの新たな可能性を追求し、その成果を広く社会に発信する取り組みを行っています。教室やアトリエを飛び出し、プロのデザイナーや制作者とともにデザインの実践過程を学ぶことで、学習意欲を刺激する貴重な経験を積むことができます。

分野紹介 Field

### グラフィックデザイン分野

グラフィックデザインとコミュニケーションデザインは同義で使用されることが多いですが、日藝デザイン学科では、特にグラフィックデザインの要素に応じて、グラフィックデザイン分野という位置付けられています。具体的には色彩学や紙を使用した構成・素材研究、パッケージデザイン、タイプフェイス、イラストレーション、コンピュータグラフィックスなど、コミュニケーションデザインを作り立てる上で欠かせない要素について、演習や座学を通して研究し、造形美を追求していきます。日藝100年の歴史の中で培ってきた造形芸術のカリキュラムとそのノウハウを活かし、グラフィックデザイナー、グラフィックアーティスト、イラストレーターとしてのスキルを高めることを目的とした授業構成になっています。



### コミュニケーションデザイン分野

コミュニケーションデザインとは、情報を分かりやすく可視化して第三者に伝えることを目的としたデザインです。近年では様々なメディアが台頭してきており、ますますコミュニケーションデザインが重要になっていくことでしょう。日藝デザイン学科では、広告、プロモーション、エディトリアル、ブランディング、ビジュアル・アイデンティティ、ウェブデザイン、映像表現、インタラクションデザインなどのデザイン領域をコミュニケーションデザイン分野と位置付けています。情報や目的によって様々なメディアを取捨選択し、グラフィックデザイン分野のスキルを持って、より高い次元で社会とコミットしていきます。従来のメディアの考え方方に捉われず、情報を分かりやすく伝える方法を考え、形にしていくことに重点を置いたカリキュラム構成となっています。



### プロダクトデザイン分野

プロダクトデザイン（製品デザイン）では、自動車や家電をはじめ、情報通信、オフィス、医療福祉、雑貨、文具、家具、玩具など、身の周りの全ての製品がその対象になります。また現在では、プロダクトデザインは製品を形づくりだけではなく、情報機器のインターフェースをはじめ、生活をとりまく環境や社会システムにまで広がりを見せています。多角的にモノゴトを見て考える思考力」「生活の中に潜む諸問題を発見する観察眼」を養い、さらにはその解決策を魅力的に提案・実践できる人材を育成します。



### スペース・アーキテクチャ分野

空間や建築を「内側」から考え、人間の生活の基盤となる住空間を中心に、家具から建築へ、建築から都市へと、身近な小さなものから大きなものへと思考し、環境全てを創造していきます。個人を取り巻く小さな空間を重視し、空間を構成する素材を通して自然と呼応する視点をさまざまなデザインの場で貫き、「人間」へのこだわりを持ち続けることを基本姿勢として、より良い生活空間をつくるために、建築をとりまく環境全般にトータルな視野を持った建築家やデザイナーの養成を目的としています。この分野の所定の理論科目・演習科目を修得することで木造建築士・二級建築士・一級建築士の受験資格が認定されます。また、校外授業として3年次に「古建築研修」として京都に赴き古建築や町並を見てまわります。先人の遺構を実体験し、そこから多くを学びます。4年次には、3年間の学習を通して最も関心の持てるテーマを自ら設定し、ゼミ担当教員のもとで研究を進め、卒業制作の指導を受けます。卒業制作は4年間の集大成であり、社会への出発点ともなるものです。制作の対象は、家具的なものから地域計画や新たな空間の提案など様々ですが、いずれも人とモノ、人と空間との関係性を追求しています。



4年間の流れ Process



1年次

全てのデザインの基本は人ととの繋がりであり、社会とコミットすることを原点と捉え、デザインの基本技術の習得と併せて当学科が掲げる「グラフィック」「コミュニケーション」「プロダクト」「スペース・アーキテクチャ」分野の基礎を学び、それらがどのように関わっているかを理解・認識し、自らの適性を探ります。

### カウンセリング

1年次終了時点で全専任教員が3人組で1年生一人一人の進路についてのカウンセリングを行います。1年次に制作した全作品のポートフォリオ及び学生の意志や意欲を基に面談を行い、本人に適したデザイン分野を教員とともに探し、その方向性を指導します。

2年次

自分が選択した分野を核にしたオリジナルのカリキュラムに従って、デザインの「理論」「歴史」「演習」「実習」などを通して、そのデザイン手法を深めます。さらに分野を超えて多角的な視野を養い、デザインの多様性を学ぶためのカリキュラムを自由に選択できます。

3年次

選択分野の専門性をさらに深めるために「インターンシップ」「総合演習」「産学連携プロジェクト」などが用意されています。特に社会におけるデザイン実務を学び、物事を横断的に捉える見方と考え方を身につけていきます。

4年次

社会や生活のさまざまな問題から自分のテーマを設定し、企画・発想・制作・提案といったプロセスを把握し修得したデザイン手法によって解決するための卒業制作に一人一人が取り組みます。

卒業後の進路 Career

広告代理店、デザイン事務所、広告制作会社、家電・自動車・文具などのメーカー、建築・設計事務所、建設会社などで、幅広く活躍しています。

### 【過去3年間の実績】

エレコム株式会社／クリエイティブコミュニケーションズ株式会社レマン／株式会社コトブキ／コナミホールディングス株式会社／株式会社昭栄美術／スズキ株式会社／セイコーエプソン株式会社／積水ハウス株式会社／株式会社ゼネラルアサヒ／株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント／大昌工芸株式会社／大東建託株式会社／ダイナパック株式会社／株式会社宝塚舞台／株式会社タニタ／株式会社ダブリューズカンパニー／ツインバード工業株式会社／株式会社電通／日産自動車株式会社／日本製紙グループ／株式会社博報堂／パナホーム株式会社／フォントワークス株式会社／ブリ・テック株式会社／本田技研工業株式会社／株式会社ホンダアクセス／株式会社マッキン・ワールドグループホールディングス／明光ホームテック株式会社／株式会社ランドマークほか

# 奨学金制度

奨学金は、学業生活を充実させるための経済的支援です。向学心があるにもかかわらず経済的な理由により修学が困難な場合や学業成績優秀者に奨学金を給付・貸与しています。日本大学の奨学金制度や芸術学部独自の奨学金制度、また、学外の日本学生支援機構や地方公共団体・民間育英団体の奨学金制度も活用することができます。なお、高等教育の修学支援制度に採用となった場合、各奨学金制度との併給ができない可能性があります。

## 日本大学の奨学金制度

### ■日本大学創立130周年記念奨学金

成績・人物ともに優良な資質を持っているにもかかわらず、経済的理由により学費等の支弁が困難である在学生(外国人留学生を除く)に30万円を給付します。

### ■ロバート・F・ケネディ奨学金(大学院生対象)

アメリカ合衆国元司法長官故ロバート・F・ケネディ氏の寄付によるもので、大学院に在学する学生で学業及び人物ともに優秀で、健康な者に年額20万円を給付します。

### ■古田奨学金(大学院生対象)

本大学の興隆発展に寄与された故古田重二良先生の功績を顕彰して、大学院に在学する学生で学業及び人物ともに優秀で、健康な者に年額20万円を給付します。

### ■日本大学事業部奨学金

株式会社日本大学事業部からの収益を還元する目的として、経済的支援を必要とし、学業成績及び人物が優良な在学生(外国人留学生を除く)に24万円を給付します。

## 芸術学部独自の奨学金

### ■芸術学部奨学金

本学部が学生の有為な人材育成を目的に設置した奨学金です。

奨学金の種類	対象	給付額	人数
第1種	修学の意志があり、かつ優良な資質を持ちながらも経済的な事情で学業に専念できない学部生(外国人留学生を除く)	30万円	30名
第2種	芸術・文化に関わる創作活動において、専攻分野に関連した国際的又は全国的規模のコンクール・発表等で高い評価を受けるなど、優秀な成績をあげたと認められる学部・大学院生	50万円を限度	若干名
第3種	学費支弁者が災害に罹災し、甚大な被害を受けた、もしくは不慮の理由で家計が急変し学費等の支弁が困難である学部・大学院生(外国人留学生を除く)	授業料を限度	若干名
第4種	本部又は学部が設ける留学制度・海外研修制度等により海外に渡航する学部・大学院生(外国人留学生を除く)	20万円を限度	若干名

(人数は2020年度採用予定数)

## 外国人留学生に対する奨学金

### ■日本大学創立100周年記念外国人留学生奨学金

私費外国人留学生を対象とした制度で、学業成績・人物が優秀で、かつ健康であり、特待生その他の本学の奨学金を受けていない学生に授業料相当額の半額を給付します。

### ■日本大学私費外国人留学生授業料減免制度

私費外国人留学生を対象として、授業料の一部(20%)減額を行い、その経済的負担を軽減することによって、学業が継続され、留学の実を上げることを目的とする制度です。

# 資格取得

## 教職課程

教員免許状を取得するための課程です。基礎必修科目、教職に関する科目、教科専門科目があり、所定の単位数を取得することにより免許状を授与されます。(下表参照)

学科	美術	音楽	文芸	デザイン
中学校一種	美術	音楽	国語*	美術
高等学校一種	美術・工芸	音楽	国語*	美術・工芸

\*「中学校一種 国語」「高等学校一種 国語」免許状については、文芸学科の教職課程科目が他学科公開科目に指定されているため、全学科で取得可能です。

## 一級建築士、二級建築士及び木造建築士受験資格

デザイン学科在籍者は、所定の建築士試験指定科目を修得することにより、卒業時に一級(ただし、卒業後2年以上の実務経験が必要)及び二級・木造(実務経験0年)建築士試験の受験資格を得ることができます。

## 特待生制度

本学では学業成績優秀、品行方正な学生を学部で選考し、特待生としています。特待生には、次の奨学金を給付しています。選考された学生には、6月頃郵送及び掲示にて通知します。(2年生以上対象・2019年度現在)①甲種(授業料1年分相当額の半額及び図書費12万円) ②乙種(授業料1年分相当額の半額)

## 地方公共団体・民間育英団体奨学金

募集の時期は4~5月が最も多く、募集があったものについては随時掲示板などで告知します。ただし、地方公共団体奨学金は大学に奨学生募集がないものもあるので、出身地の教育委員会などに問い合わせてください。

## 日本学生支援機構奨学金(貸与)

勉学に励む意欲があり、またそれにふさわしい能力を持った学生・生徒が経済的理由により修学をあきらめることのないよう支援することを目的として国が実施する制度です。別に定める規定によって、特に、学業・人物ともに優秀であって、著しく学資の支弁が困難であると認定された者に貸与されます。貸与期間は、本学部の標準修業年限とします。詳しくは、ホームページをご確認ください。

日本学生支援機構奨学金ホームページ <https://www.jasso.go.jp/shogakukin/index.html>

## 高等教育の修学支援制度

経済的な理由で学び続けることをあきらめないよう、2020年4月から授業料等の減免(授業料と入学金の減免)と給付型奨学金(原則返還が不要な奨学金)により、意欲のある学生のみなさんの「学び」を支える制度です。大学等に在学中の学生も、条件を満たせば支援を受けられます。世帯所得等によって算出した結果に応じて支援区分が決定します。支援区分は3段階で区分に応じて、支援の金額が異なります。

### ●第I区分(住民税非課税世帯)

①授業料等の減免	上限約70万円／年
②給付型奨学金	自宅通学
	自宅外通学

### ●第II区分

①授業料等の減免	上限約47万円／年
②給付型奨学金	自宅通学
	自宅外通学

### ●第III区分

①授業料等の減免	上限約23万円／年
②給付型奨学金	自宅通学
	自宅外通学

詳しくは、ホームページをご確認ください。

高等教育の修学支援制度ホームページ <https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm>

資格取得について詳しくはWEBをご覧ください。  
<http://www.art.nihon-u.ac.jp/campuslife/licence/>



## 学芸員課程

芸術学部各学科の学生は所定の単位数を取得することにより学芸員の資格を取得することが可能です。

## 司書課程・司書教諭課程

芸術学部各学科の学生は所定の単位数を取得することにより司書及び司書教諭の資格取得が可能です。司書教諭の資格を有効にするには、併せて教員免許の取得が必要となります。

## 図書館

図書館について詳しくはWEBをご覧ください。  
<http://www.art.nihon-u.ac.jp/facility/library/>

